古代と現代をつなぐ

イタリアが誇る、カルロ・フォルリヴェジによる

珠玉のオルガン・リサイタル

カルロ・フォルリヴェジ

CARLO FORLIVESI

ORGAN RECITAL

オルガン・リサイタル

2026.11.7（土）

開演 **19:00**（開場 18:20）

ザ・シンフォニーホール

PROGRAM

ギラウト・デ・ボルネーユ
《Reis glorios, verais lums e clartatz》

滝 廉太郎
《荒城の月》

ジャン＝フランソワ・ダンドリュー
《アヴェ・マリス・ステラ》

ジャン＝ピエール・ルゲ
《Rivages》より

トマゾ・アルビノーニ
《アダージョ ト短調》

ヴィンチェンツォ・ベッリーニ
《オルガン・ソナタ》（カデンツァ：カルロ・フォルリヴェジ）

カルロ・フォルリヴェジ
《Paradisi Via ― Hymnus in Memoriam Sancti Carlo Acutis》 ほか

※休憩なし。約 60 分間のコンサートです。

全席指定 2,750 円（税込）※チケットは、ザ・シンフォニー チケットセンターのみで取り扱いします。

ご予約・お問い合わせ ザ・シンフォニー チケットセンター

06-6453-2333（火曜定休） https://www.symphonyhall.jp/

▼詳細はコチラ

＊未就学児童入場不可　＊公演中止・延期の場合を除いて、チケット代金の払い戻しは承りません。

＊やむを得ない事情により曲目等が変更になる場合がございます。予めご了承下さい。

主催：ザ・シンフォニーホール

UNIVERSITÉ CÔTE D'AZUR

wienerberger

カルロ・フォルリヴェジ

CARLO FORLIVESI
オルガン リサイタル

カルロ・フォルリヴェジ

イタリア出身のオルガニスト、作曲家、音楽研究者。卓越した演奏技術と幅広い芸術性で知られ、ヨーロッパ、アジア、北米、オセアニアの４大陸で国際的な活動を展開している。イタリア（ボローニャ、ミラノ、ローマ）、フランス（パリ）、デンマーク（オーフス）、日本（東京）、アメリカ（シカゴ）の名門教育機関で研鑽を積み、国際的な文化機関から数々の賞を受賞。日本では文部科学省、ヤマハ音楽振興会、ローム ミュージック ファンデーションをはじめ、東京、京都、大阪、九州、札幌の大学などから研究助成を受けている。現代作品から古楽まで幅広いレパートリーを持ち、繊細かつ深い音楽性による演奏は高く評価されている。これまでに、世界遺産にも登録されているアッシジのサンタ・キアーラ聖堂や、アッシジのサンタ・マリア・ソプラ・ミネルヴァ聖堂など、歴史ある教会の専属オルガニストも務めた。演奏活動はパリ、ウィーン、ザルツブルク、メルボルンなど世界各地に及ぶほか、福島第一原子力発電所の避難区域に近い原町の小さなカトリック教会や、長崎・浦上天主堂など、歴史的・社会的意義を持つ会場でも演奏を重ねている。近年では、修復を終えたパリ・ノートルダム大聖堂のクリスマスシーズンの演奏に招かれたほか、オーストラリア･アデレードでは、市庁舎（アデレード･タウンホール）およびアデレード大学の名門ホール「エルダー・ホール」にも出演している。作曲家としても、管弦楽、室内楽、声楽、電子音楽、日本の伝統楽器や舞踊のための作品など、多彩な作品を発表。世界各地の劇場や音楽祭で演奏されており、初の千年紀の聖人となるカルロ・アクティスのための賛歌も作曲している。

教育者としても高い評価を受け、ヨーロッパ、アメリカ、オーストラリア、日本の主要大学で客員教授・講師を歴任。東京藝術大学、京都市立芸術大学、大阪音楽大学、札幌大学、九州大学、エリザベト音楽大学などでも教鞭を執ってきた。ドイツ・シュトゥットガルト国立音楽演劇大学作曲科教授を経て、現在はイタリアのロッシーニ国立音楽院教授を務める傍ら、フランス・コート・ダジュール大学で２つ目の博士号取得に取り組んでいる。2026 年には、米国よりフルブライト特別教授職に選出された。

幻想的な世界が広がる
ザ･シンフォニーホールのパイプオルガン

ザ･シンフォニーホールの舞台正面に厳かに佇むパイプオルガンは「本格的なコンサートホールには、ヨーロッパの伝統的なパイプオルガンが欠かせない」という強い想いのもと、スイスの名門オルガンビルダー「クーン社」によって生み出されました。透明感のある明瞭な音が特徴で、3,732本のパイプから成り、3段の手鍵盤と低いパイプを鳴らす足鍵盤、音色を調整する54のストップがあります。オルガニストの感性、音楽解釈によって、様々な音色が組み合わされていきます。残響2秒というクラシック音楽にとって最適といわれるザ･シンフォニーホールの豊かな響きの中に広がるパイプオルガンの音色は、まるで巨大な楽器の中にいるかのような壮大で幻想的な世界へ誘ってくれます。